



大田区サッカー協会少年部 主催
[U12リーグ、ジュニア(U10)リーグ戦 運営ガイド]
Management Guide of League Games

2024年度 U12リーグ、Jrリーグ(以下 U10リーグに名称変更)に関する詳細事項を本運営マニュアルに記載。大会要項と合わせて内容をご確認、ご理解のうえリーグ戦に参加いただくようお願いします。

【第1項】参加資格に関して

大田区以外が主催する大会(8ブロック/リハウスリーグ)に出場している選手の大田区リーグ戦への出場を認める。16ブロック参加選手についても同様とする。但し、U12リーグ、U10リーグにおける同カテゴリ内に複数のチームをエントリーした場合の重複出場は一切認めない。4年生の選手は U10リーグと U12リーグの1チームに限り重複出場を可能とする。

1. チーム(U12リーグ、U10リーグ)の複数エントリーについて
1クラブが同一リーグに2チーム以上エントリーする場合、同選手が重複して出場することは不可とする。
選手が前期/後期それぞれのリーグ戦開催中に1試合でも出場した場合は出場チームの入替・編成は不可。
前期終了後、後期リーグ開始前におけるチームの入替・編成変更は可能とする。
2. 4年生選手の U12リーグの出場について
U12リーグに複数チームで参加する場合、4年生選手が複数チームの試合に出場することは不可とする。
3. U10リーグへの2年生選手の参加について
原則は4-3年生選手での参加とするが、チーム編成上やむを得ない場合、当日の選手補充として2年生選手の参加を認める。但し、チームが責任をもって成長、安全性を十分にマネジメントしたうえで参加させる事。
4. 大田区内でのクラブ移籍について
移籍前クラブでのリーグ戦出場があった場合は移籍後のクラブでの同期内リーグ戦は出場不可とする。
但し、前期終了後、後期リーグ開始前に移籍した場合の後期リーグ戦出場を認める。区外からの転校などによる移籍の場合は、移籍時期にかかわらずリーグ戦への出場を認める。

【第2項】リーグ編成に関して

1. U12リーグのブロック分けと編成について
 - 前期リーグは 2023 年度後期の成績により、1～3 部すべて昇降格確定後に自動編成。(別紙ブロック割表参照)
 - 後期:前期の成績をもとに、自動的にブロック編成する。(以下ベースとなる自動編成)
→ 複数チームをエントリーする場合は抽選となる場合あり。
 - 後期から参加チームは3部に適切に割り振って編成を確定する。
2. 同一クラブにおける複数チームエントリーの扱いについて
 - 複数チームエントリーは希望するチームにて抽選で行い、参加を決定する。抽選によって複数エントリーが認められたクラブは必ず参加チーム毎の試合に対応できるよう責任をもって準備する。(帯同・審判含めて)
 - **スタッフ不足による不都合日は一切認められない。**

- 原則として、OFA 少年部は同クラブの別チームが同ブロックに入らないように調整するよう努力する。但し、U12リーグ後期で調整が困難な場合や U10 リーグ後期の順位ブロックにおいては、同じブロック内に同一クラブチームが編成される事がある。前期、後期の開始前に参加チームの減が発生するクラブがある場合は、各クラブの責任において不参加(エントリー減)を判断する。

3. 複数エントリーを行うチームの名称について

- 同一クラブが同カテゴリ(U12/U10)の各リーグに複数エントリー可能な場合は、チーム毎にチーム名を割当てることを認める。割当てるチーム名は【クラブ名+愛称】というスタイルに統一する(特に希望がない場合は愛称の部分をA・B・Cとする)。チーム名の申告はエントリー時に行い、年度途中では変更できない(前期/後期共に同じチーム名として年度を通して使用/継続する)。

【第3項】リーグ戦の進行/運営に関して

リーグ戦の進行/運営は、各リーグに参加するチームの協力のもと、協会少年部の「リーグ戦運営委員会(新設)」と代表者会議にて選出・認定された各ブロックの幹事チームで行う。

<役割について>

- 大田区サッカー協会少年部「リーグ戦運営委員会」
 - 全体の進行と運営管理
 - ・U12/U10リーグの編成、及び抽選、ブロック幹事チームの決定
 - ・各ブロック幹事チームへ運営マニュアルの展開、及び勉強会の実施
 - ・各ブロックへのリーグ戦グラウンドの割当と各ブロック幹事チームへの通知連絡
 - ※ 3週間前を目途に実施
 - ・雨天中止や試合不成立が発生した場合の追加グラウンドの設定と連絡
 - ・リーグ戦の結果および進行状況を確認し、各期の残り試合のスケジュールを調整
 - リーグ戦終盤は期間内のリーグ戦終了を目指し、試合の設定を行う場合があります。
- 各ブロック幹事チーム
 - 進行状況やイレギュラー事案等の OFA への報告/連絡
 - ・少年部から提供されたグラウンド割当情報を基に試合スケジュール、審判スケジュールを調整、決定する。
 - ※ブロック内チームの不都合日情報をもとに、**2週間前まで**に試合スケジュールを策定し、ブロック各チームと少年部に連絡する。試合が設定できなかった場合はブロックチーム内での使用を調整する。
 - 割当られたグラウンドが未使用となった場合は OFA 少年部に返還するものとする。
 - ・試合開催時の運営担当チームを決定し、試合スケジュール配信時に試合スケジュール表に記載してブロック内及び OFA 少年部に周知する。
 - ・各ブロック代表として少年部との連携を密に行いながらブロックのリーグ戦進行を適切にマネジメントする。

下記のファイルをブロック幹事チームに配信します。

- ①ブロック管理用ファイル
 - ②試合設定連絡用ファイル
 - ③スケジュール用ファイル(六郷用・ガス橋用・昭和島用・森ヶ崎用)
- 各チームへの配信・協会への報告に活用して下さい。

- 試合当日の運営チームの役割
 - 当日のリーグ戦の適切な運営、進行を行う

- ・当日の試合結果、および当日のメンバー表を OFA 少年部、およびブロック内に報告。
(スマートフォンで各用紙を撮影後、メールにて報告する。)
 - ・気象状況を考慮して当日のリーグ戦実施判断をする。
但し、猛暑・台風等、極端な気象状況に関しては OFA 少年部にて判断し、周知する。
 - ・当日は該当ブロックの開始から終了までの間、少年部・ブロック内チームからの連絡を受けられるようにする。
 - ・リーグ戦当日にトラブルが発生した場合は発生経緯、状況、結果を必ず少年部リーグ戦運営委員に報告する。
- ※ トラブルシューティングについては可能な限り現場にて行うようご協力ください。
日数が経過してからの事実確認等の調査、対応はケースクローズまで時間を要する場合があります。

※リーグ戦実施フローについては【5ページ目】をご確認ください。

【第4項】リーグ戦競技規則について

1. ユニフォーム・装具

- 試合着用ユニフォームは、審判の判定に影響を与える事のない色を着用するよう試合開始前までに調整する。
- GKも同様に適切な色の GK ユニフォームを着用する事とし、色の調整がつかない場合は審判の指示のもとピブス等を活用して調整する。
- ベンチに入る選手、及びコーチは必ずピッチ内選手と異なる色を着用する事。ピブス等を活用して審判の判定に影響を与えないよう調整する。
- インナーウェアの色はチームで統一する事(ユニフォームと同色でなくても可とする)。
- 原則、眼鏡は着用しないものとするが、割れない素材のスポーツタイプの眼鏡、ゴーグルは使用可とする。

2. 選手の交代(フリー交代制)

- フィールドプレイヤーはインプレー中に主審に告げずに交代できる。
- フィールドプレイヤーは、必ず交代ゾーン(ベンチサイドのハーフライン両側3m)から出入りする。
- ゴールキーパーはアウトオブプレー時に主審に告げて交代する。
- ゴールキーパーの交代はゴール脇からアウト、交代ゾーンからインし、定位置についてから再開する。

3. レッドカードへの対応

- レッドカードにより退場者がでた場合は、ベンチ入りしている選手を補充し8名にて試合を続ける。
カードを提示された選手は該当試合に交代による再出場は不可とする。
- 交替要員がない場合は補充なしで6名まで試合続行とする。(負傷選手を無理に試合に出場させることは不可とする。)5名以下となる場合はその時点で試合を中断し、当日の運営チームから少年部に状況について報告する。少年部は状況の調査・状況確認を行い試合成立、不成立再設定、没収試合、不戦敗等の対応を決定する。後日、決定内容を関係チームに通知する。
- レッドカード対象選手の出場停止処分に関しては、原則協会では管理しないが報告は義務とする。
競技規則に従いチームおよびブロック幹事担当者で対応すること。但し、問題等が確認できた際は OFA 少年部理事会、常任理事会にて協議する場合がある。

レッドカード対象の選手は次のリーグ戦1試合の出場不可とする。またイエローカードの累積2枚も同様とする。

4. 給水タイムの採用

- 当日の気象条件・WBGT計の数値を基に各試合の開始前に参加チームにて協議し、給水タイムの採用可否を決定する(原則、主審の独断で採用することは不可)。
- 前/後半各半分の時間(U12=10分、U10=7-8分)を目安に、アウトオブプレー時に主審の合図で給水を行う。

- 1分間を目安とし、**ロスタイムにカウントしない**。選手はピッチから出ない。(クーリングブレイク採用時は)
- 給水タイム時の指示については可とするが、選手の給水を最優先に考慮すること。
- 給水タイム時の選手交代を可とするが、必ず主審に報告し交代ゾーンで交代する事。
- 給水タイム後の試合再開は、アウトオブプレーとなった場所から主審の合図をもって再開すること。

2024年度より採用するクーリングブレイクについては大会要項記載とおり、OFA 少年部からの通知により導入時期を決定する。

【第5項】審判について

JFAサッカー審判員の資格を有する者が3審制(主審1名、副審2名)で試合を運営、必ず審判員ワッパンを付けた審判服を着用すること。※4審および補助審は必要としない。

- 冬季の防寒は黒系のインナー、手袋の着用は可とするが、ニット帽、ネックウォーマー等の着用は不可とする。
- 審判に不測の事態が発生した場合は、主審チームから1名審判を補充して対応する。
- 眼鏡の使用は不可とし、コンタクトレンズを装着し審判を行う。やむを得ない場合は必要に応じてゴーグル式の安全なものを着用する。

【第6項】その他事項について

不都合日程については必要に応じてリーグ戦が設定されるスケジュール毎にブロック幹事チームに申請すること(OFA への不都合日程申請は行わないものとする) 大田区リーグ戦において OFA の大会本部は設置しない。当日の状況で机や椅子を活用し、試合結果の記録・集計等が円滑に出来るように準備する。

1. 試合当日

- 運営チームは試合スケジュール表(試合結果報告用紙)を準備する。ピッチの設営(ライン引き)、後片付けは当日参加するチームにて協力して行うこと。
- 各チームの代表者は試合開始前に着用ユニフォーム、審判打合せ、給水タイム採用等について打合せを行うこと。
- 選手、審判は集合時間、試合開始時間を厳守する。(試合の円滑な進行に率先して協力すること)
- 当日の結果は試合終了後、主審が試合結果集計用紙に結果を記入・署名後、対戦両チーム双方の指導者の署名を取得する。
- 全試合終了後、試合当日の運営チームは試合結果、メンバー表を OFA 少年部、ならびにブロック幹事チームに確実に報告すること(集計用紙の写真添付での報告を可とする)。

※試合当日のベンチコーチは3名までとする。追加でメディカルスタッフを加える場合は最大1名までとします。

2. 試合当日の駐車・駐輪

- 駐車時はグラウンド指定の駐車場、近隣のコインパーキングを利用すること。
- 薬局、ファミレスなど店舗への違法駐車は絶対にしない。
※特に駐車場の少ないグラウンドの利用時には、チーム内で乗り合わせて利用台数が少なくなるよう各チームにてご協力をお願いします。
- 駐輪時は一般の歩行者・利用者に迷惑とならないよう、決められた場所・決められた範囲内にできるだけ詰めて整列駐輪を行うこと。
<昭和島グラウンド>
駐輪場利用者が増加しています。公園外側の駐輪場もご利用ください。駐車場入口付近はカーブとなっていることから危険を回避するため道路での駐車場入場待ちは絶対にしないようご協力をお願いします。

3. リスクマネジメント

- 各グラウンドのAED設置/保管場所を確認しておくこと。
 - 六郷グラウンド グラウンドわき倉庫の中で保管・管理しているものを使用する。
 - ガス橋グラウンド ガス橋交番に設置されているものを使用する。
 - 昭和島グラウンド 管理棟内に設置されているものを使用する。
 - 森ヶ崎グラウンド 管理棟内休憩所に設置されているものを使用する。
- 急な気象変化への対応
 - 豪雨や雷時の対応 打ち切り中止とし、速やかに撤収すること。
 - ひどい強風の対応 必ずゴールの固定状況を確認すること。
 - 高温多湿時の対応 計器(WBGT 計)を使用し基準に基づいて、給水タイムの採用試合の中止などの判断をする。

※クーリングブレイクについては前述の通りとする。

◇ 試合開始前に実施可否を判断できる場合は OFA 少年部から各チームに連絡する。

◇ 試合実施中の継続可否について運営チームを中心に現地で判断する。

※上記理由にて中断した場合は全て不成立。後日、OFA 少年部にて再試合・再設定する。

| 《給水タイムの基準となる温度》 | | | 《試合中止の基準となる温度》 | | |
|-----------------|------|------|----------------|--------------|------------|
| WBGT(湿球黒球温度) | 乾球温度 | 湿球温度 | WBGT(湿球黒球温度) | | |
| 25℃ | 28℃ | 21℃ | 31℃(原則中止) | 28~31℃(嚴重警戒) | 25~28℃(警戒) |

4. リーグ戦不都合チームへの対応

- 大会規定記載の通りリーグ戦の不都合については学校行事、チーム合宿(1回/年)を除いて一切認めない。上記以外の理由で不都合が発生したチームにはペナルティを課し不戦敗扱いとする。
- ※ペナルティの内容に関しては別紙参照
- 不戦敗は当日の試合設定数分を対象とする。(2試合予定の場合は2試合を対象が対象)
- 不都合チームの試合設定はブロック幹事チームの裁量で設定し、OFA 少年部に報告する。ブロック幹事チームの設定内容への異議は一切認めない。
- 不戦敗時のスコア、勝ち点の考え方は右記のとおりとする。

| | |
|-----|--|
| スコア | 不戦敗該当チーム 0ー5 不戦勝該当チーム |
| 勝ち点 | -1 ペナルティの対象にもなります |

リーグ戦実践フロー

